

第4次南空知ふるさと市町村圏計画書

平成30(2018)年度～平成34(2022)年度



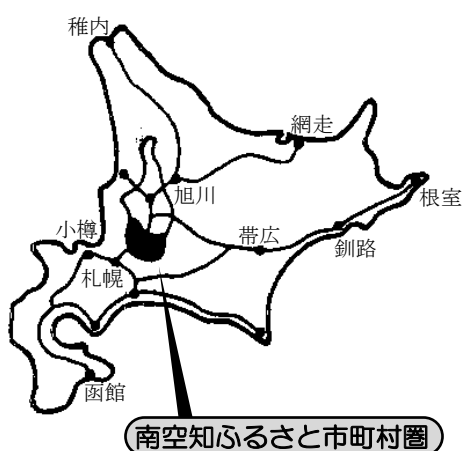
平成30(2018)年2月

南空知ふるさと市町村圏組合

圏域の概要

本圏域は、北海道の中央南西部に位置し、東経141° 26′～142° 16′、北緯42° 51′～43° 27′にわたる間にあり、東部は夕張山地を境に富良野圏と、南部は千歳川を境に札幌圏及び東胆振圏と接し、北部は中空知圏に接する4市5町で構成する圏域です。

< 圏域位置図 >



< 圏域市町分布図 >



圏域の東部は、夕張岳、芦別岳及び幾春別岳を擁する低山性の夕張山地からなり、堆積岩が主部を占める地層は、かつて夕張層、登川層及び幾春別層といった優良な炭層を抱き、全国有数の石狩炭田を形成しています。

また、夕張山地を源とする夕張川、幾春別川や美唄川は、低地帯に入るところで大小の扇状地をつくりながら、圏域南西、あるいは北西方向に流下し、石狩川流域低地、幌向川流域低地と萱野・上志文から追分に至る角田低地などからなる圏域西部の農業地域を貫流する石狩川と合流しており、この一帯は冬は湿潤寒冷、春から夏にかけては温暖で乾燥し、秋から冬にかけては比較的降水量が少ないといった気候条件とも重なって、肥沃な農耕適地となっています。

なお、圏域の総人口については、農業の近代化やエネルギー政策の転換の影響を受け、昭和35年（国勢調査）の418,629人をピークに減少の一途を辿り、平成7年（同）には212,185人まで半減し、その後も少子高齢化の影響から減少傾向が続いており、平成27年（同）には166,691人となっています。

<圏域人口の推移>

- ▶ 単位＝人
- ▶ 総務省統計局「国勢調査」より
- ▶ 各年の数値は現在の市町の区域により集計

市町名	大正14年	昭和22年	昭和35年	昭和50年	平成7年	平成27年
夕張市	48,697	82,123	107,972	50,131	17,116	8,843
岩見沢市	47,779	72,337	94,802	89,369	97,042	84,499
美唄市	32,701	72,222	87,345	38,416	33,434	23,035
三笠市	18,762	44,682	56,196	25,749	15,116	9,076
南幌町	2,945	6,577	8,167	5,651	9,020	7,927
由仁町	8,815	12,225	12,889	9,511	7,250	5,314
長沼町	11,327	15,703	18,763	13,797	12,293	11,076
栗山町	14,486	20,721	23,003	17,528	15,604	12,344
月形町	4,645	6,891	9,492	5,947	5,310	4,577
圏域合計	190,157	333,481	418,629	256,099	212,185	166,691

●●●●● ふるさと市町村圏計画の沿革 ●●●●●

本圏域では、昭和48年に「南空知広域市町村圏振興計画」を策定し、広域ネットワークの整備や共同事務処理システムの形成などを通じて地域社会づくりを進め、圏域住民の福祉向上や圏域経済の進展に努めてきましたが、平成3年に「ふるさと市町村圏」の選定を受け、南空知ふるさと市町村圏組合を設立しました。

以来、3次に亘って「南空知ふるさと市町村圏計画」を策定し、住民各層の協力と構成市町の連携のもと、圏域の優れた地域特性や地域資源を最大限活用しながら、都市圏との交流拠点の形成、産業の活性化などに努め「魅力ある調和のとれた圏域」を目指し、ふるさと市町村圏基金を活用した各種事業の推進に取り組んできました。

また、平成20年12月に国が行った制度改正（計画策定の根幹をなす「広域市町村圏計画策定要綱」及び「ふるさと市町村圏推進要綱」の廃止）に伴い、それ以降は構成市町の自主的な協議に基づき、市町村圏計画に記載された広域行政推進の枠組みと各種事業展開を継続することとし、今日に至っています。

●●● 新しい「ふるさと市町村圏計画」の策定 ●●●

本圏域では、前述のとおり「魅力ある調和のとれた圏域」を目指し、ふるさと市町村圏基金を活用した各種事業の推進に取り組んできましたが、その基礎となる現計画は平成29年度をもって期間が終了することから、構成市町がより一層の連携を深め、引き続き本圏域の有する豊かな資源や特色を活かしながら持続可能な圏域の発展を目指すため、次のとおり新たな計画を策定することとしました。

I 基本方針

(1) 趣旨

この計画は、これまで圏域の振興整備にあたって進められてきた「ふるさと市町村圏」の枠組みと施策について、圏域の自主的な協議に基づき維持していくという合意を基本とし、地方行政に求められている人口減少対策や地域経済の活性化などの諸施策について、各構成市町等からの出資により造成された「ふるさと市町村圏基金」の運用益を最大限に活用し、圏域のプロモーションや観光情報等の発信、物産の販路拡大の取り組みなどのソフト事業や共同処理に係る調査研究などについて、圏域で一体的に取り組んだほうが効率的である各種事業を、施策の選択と集中を通じて実施していくことを目的に定めるものです。

そのための財源の裏付けとなる基金計画並びに構成市町間の協議に基づく事業計画を次に定め、圏域として期待される事業を着実に実施していくこととします。

(2) 計画期間

平成30（2018）年度～平成34（2022）年度 （5年間）

(3) 推進体制

構成市町で構成する主管課長会議を中心に、広域施策に関する協議や調整、関連事業等の実績管理など、適切な推進管理に努めるものとします。

また、実施事業にあたっては、必要性、有効性、達成度、効率性などの観点から、組合事務局及び構成市町で横断的な事業評価を行い、簡素で効果的・効率的な組合運営の確立や、成果を重視した組合事業の推進を図っていくとともに、本計画についても適宜見直しを図っていくこととします。

II 基金計画

(1) 基金造成計画

(単位:千円)

区 分	出資者等	平成3(1991)年度 造成額	平成4(1992)年度 造成額	平成28(2016)年度 造成額	合 計
出 資 金	夕張市	48,439	48,439		96,878
	岩見沢市	171,938	171,938		343,876
	美唄市	65,655	65,655		131,310
	三笠市	38,736	38,736		77,472
	南幌町	19,574	19,574		39,148
	由仁町	22,207	22,207		44,414
	長沼町	30,568	30,568		61,136
	栗山町	34,571	34,571		69,142
補 助 金	北海道	50,000	50,000		100,000
	自己資金			30,000	30,000
合 計		500,000	500,000	30,000	1,030,000

※「歳入歳出予算」＝基金として、特別会計歳入歳出予算で定められた額(南空知ふるさと市町村圏基金条例第2条第1項第4号)

(2) 基金運用計画

(単位:千円)

区 分					計 画 額				
					平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度
債 券 名 称 等	期 間	利率	取得額等						
債 券	9回 利付国庫債券(30年)	2002年12月20日～ 2032年12月20日	1.400%	500,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
	120回 利付国庫債券 (20年)	2010年6月20日～ 2030年6月20日	1.600%	148,084.5	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
	平成26年度10回 札幌 市公募公債 20年	2015年3月20日～ 2035年3月20日	1.267%	100,000	1,267	1,267	1,267	1,267	1,267
	242回政保日本高速道 路保有債務返済機構	2015年3月30日～ 2035年3月30日	1.216%	200,000	2,432	2,432	2,432	2,432	2,432
預 金	定期預金	単年度	0.001% [※]	80,000	48	1	1	1	1
	決済用預金	—	0.000%	1,915.5					
(小計)				1,030,000	13,147	13,100	13,100	13,100	13,100
貸 付 金 債 還 金					20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
前 年 度 繰 越 金					38,152	33,653	29,200	29,200	29,200
そ の 他 の 収 入					1	47			
合 計					71,300	66,800	62,300	62,300	62,300

※平成30(2018)年度は0.060%

Ⅲ 事業計画

(単位:千円)

事業名	事業内容	計 画 額				
		平成30 (2018) 年度	平成31 (2019) 年度	平成32 (2020) 年度	平成33 (2021) 年度	平成34 (2022) 年度
圏域外者バスツアー事業	圏域外の方を対象したバスツアーによる圏域のPRを通じ、交流人口の増加や移住対策に繋げる。	1,830	1,820	1,820	1,820	1,820
首都圏プロモーション事業	首都圏でのプロモーションの実施による圏域のPRを通じ、交流人口の増加や移住対策に繋げる。	1,262	1,250	1,250	1,250	1,250
南空知ふるさと物産展事業	「さっぽろオータムフェスト」への出展を通じ、圏域のイメージアップや地域振興を図る。	3,147	3,130	3,130	3,130	3,130
地域情報ネットワーク構築事業	HP、SNSによる圏域情報の発信を行う。	530	530	530	530	530
新広域連携調査事業	圏域の防災上の課題を掘り下げ、情報の共有を図る。	78	70	70	70	70
地域活性化支援事業	地域の活性化振興化ソフト事業に対する負担を通じ、圏域の均衡ある発展を図る。	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300
(小計)		13,147	13,100	13,100	13,100	13,100
その他	北海道空知地域創生協議会負担金	4,500	4,500			
	夕張市財政再建円滑化資金貸付金	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
事業費計		37,647	37,600	33,100	33,100	33,100
予備費		33,653	29,200	29,200	29,200	29,200
合計		71,300	66,800	62,300	62,300	62,300